ネットの必需品「ブラウザ」の使い方の基本、セキュリティとプライバシーに配慮した設定

JCA-NETセミナー
2026/2/17

としまる
toshi@jca.apc.org

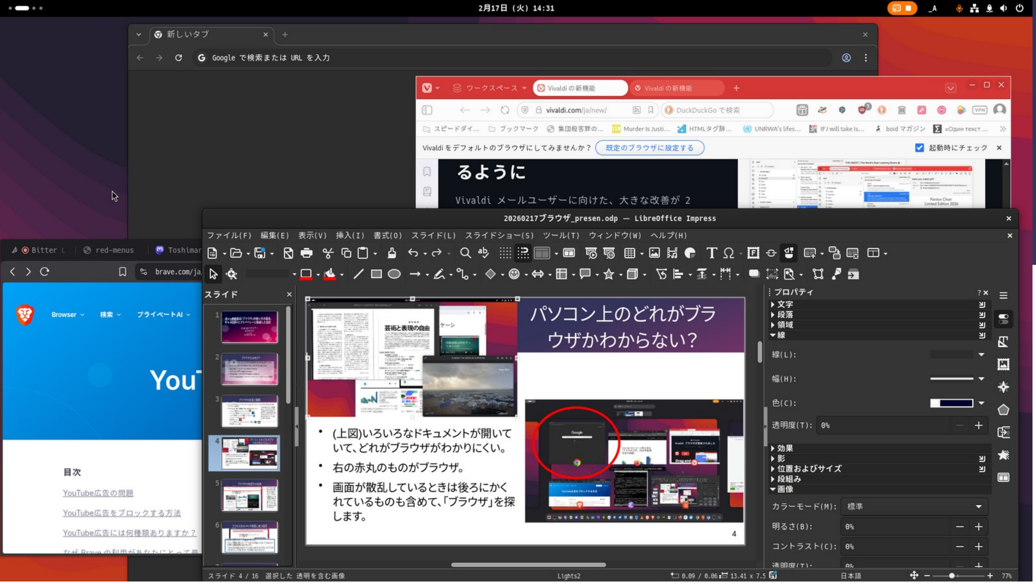
ブラウザとは何か？

- ネットに繋いでパソコンやスマホを利用するときの必須アイテム
- 「ブラウザ」について今日は以下のことを中心に話します。
  - 自分が使っているブラウザが何なのかを知る
  - アクセス先のURLの確認方法を知る
  - Google検索からDuckDuckGo検索に切り替える
  - ブラウザの設定画面にアクセスしてプライバシーとセキュリティを確認

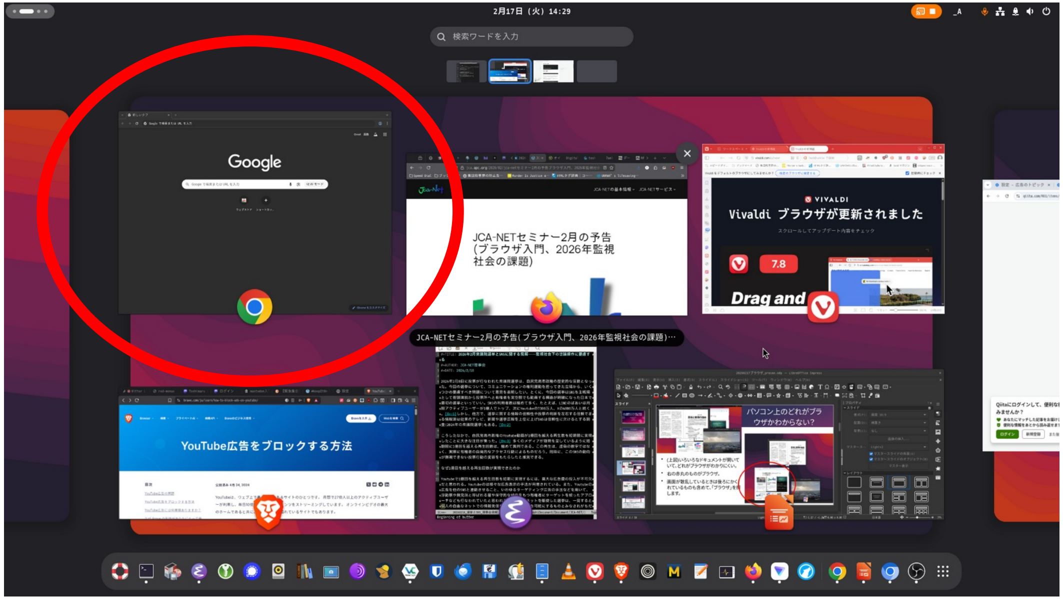
ブラウザの定義と種類

- パソコンやスマホで、インターネット上のウエッブページにアクセスするときに使うソフトの一般名詞。正式名は「ウエッブ・ブラウザ」ですが、ここでは「ブラウザ」と略します。
- ブラウザには、様々な種類がある。有名なものとして
  - Googleが開発したGoogle Chrome
  - ChromeベースのMicrosoft が開発したEDGE
  - Appleが開発してMacに搭載しているSafari
  - ChromeベースのBrave
  - 独立系のFirefox
  - Firefox系列のTor、Mullvad、Librewolf
  - 独立系のVivaldi

ブラウザのアイコンを把握することが大切です。「あなたは何のブラウザを使ってますか?」と質問されたら答えられるようにしておくと、そのあとのサポートとか受けやすくなります。



パソコン上のどれがブラウザかわからない?



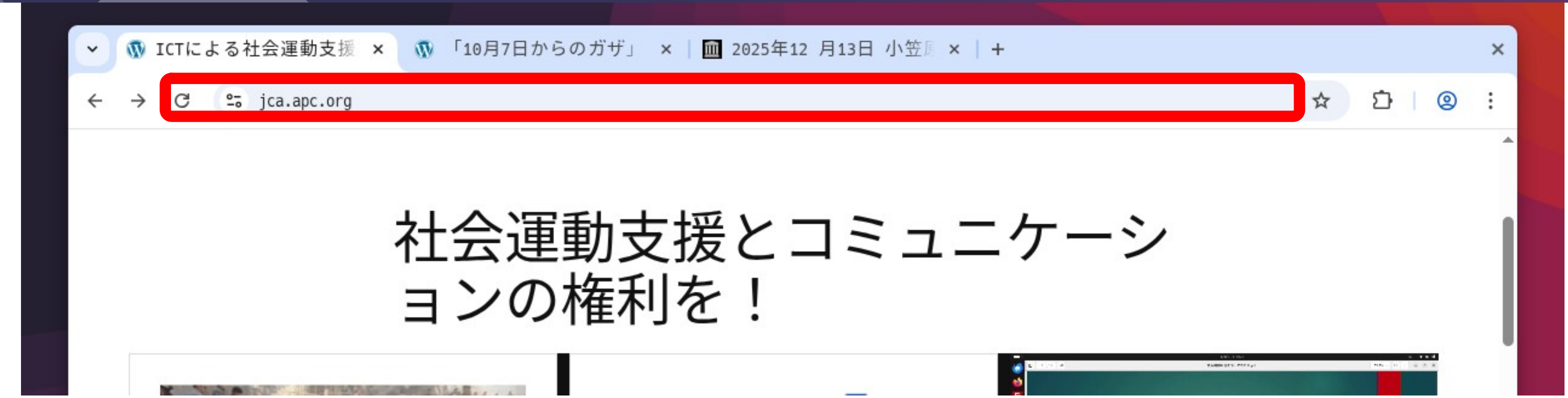
- (上図)いろいろなドキュメントが開いていて、どれがブラウザがわかりにくい。
- 右の赤丸のものがブラウザのGoogle Chrome。
- 画面が散乱しているときは後ろにかくれているものも含めて、「ブラウザ」を探します。

ブラウザの各部分の名称



ブラウザの上部の部分に様々な機能がまとめられていることが多い。ただし、ブラウザの種類によっては左側縦に配置されていたり、下に配置されていたりする。レイアウトを自由に変更できる場合があります。

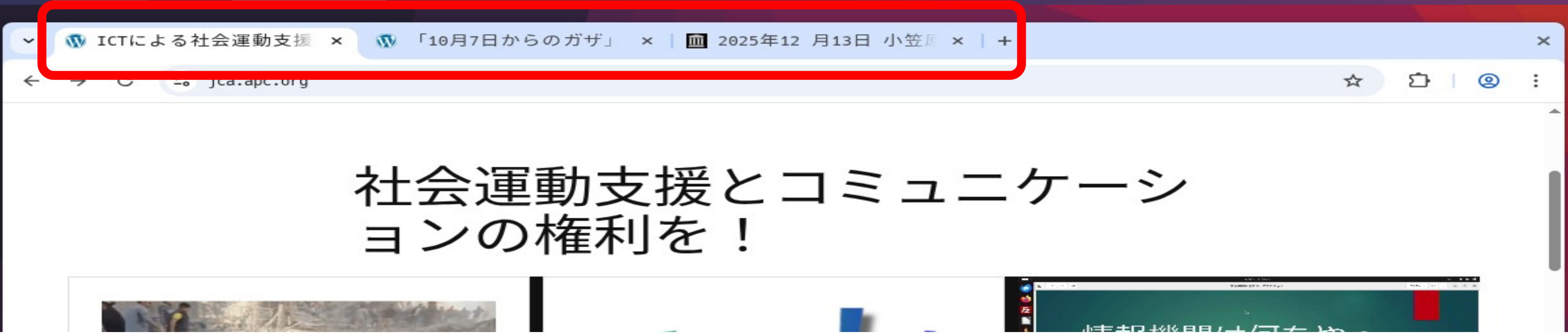
アクセス先のURLや検索に使う場所



上の赤枠の場所には二つの機能があります。

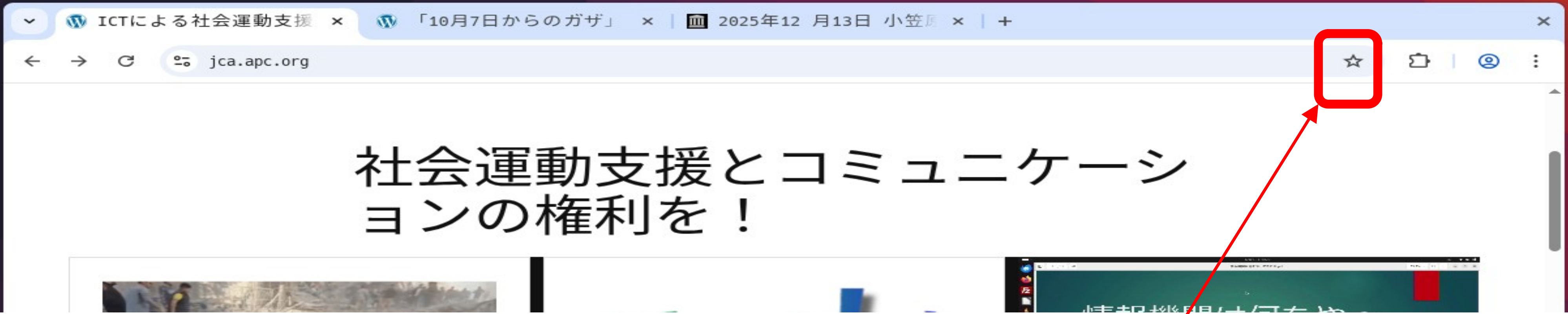
- ウエッブ検索に使う。キーワードなどを自由に入力して「enter」キーを押すと検索結果が表示されます。
- アクセス先のURLがわかっていれば、URLを入力することでアクセス先のウエッブが表示され、そのURLが表示されます。

タブ——複数のサイトを行ったり来たり



上の赤枠をタブといいます。複数のウエッブページを同時に開いて、行ったり来たりができます。複数のウエッブを同時に開いて作業するときに便利です。各タブの右端の「×」をクリックすると閉じます。右端の「+」をクリックすると新しいタブが開きます。

ブックマーク



上の赤枠はブックマークといいます。クリックすると、今アクセスしているサイトを分類、記憶してくれます。後日同じサイトにアクセスするときにわざわざ検索エンジンで検索しなくてもブックマークからアクセスできます。分類機能をうまく使ってみてください。

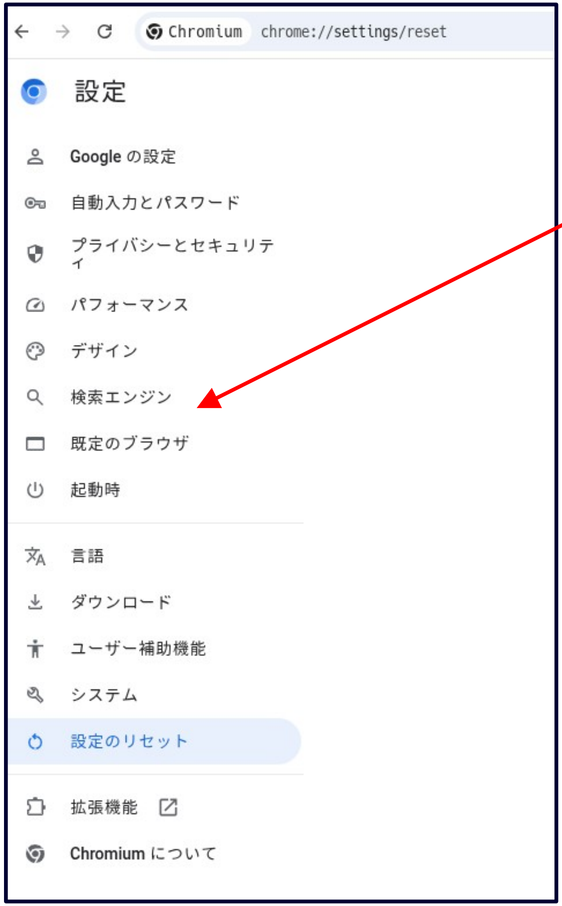
「設定」メニュー



画面え右上端に・が三つ、あるいは、横線が三つの地味なアイコンがあります。ここをクリックすると各種設定などのメニューが表示されます。左図はクリックしてメニューを表示させた状態です。

更にもうひとつ「設定」と表示されたメニューがあります。ここをクリックしてプライバイー関連の設定をします

「検索エンジン」をDuckDuckGoに切り替え



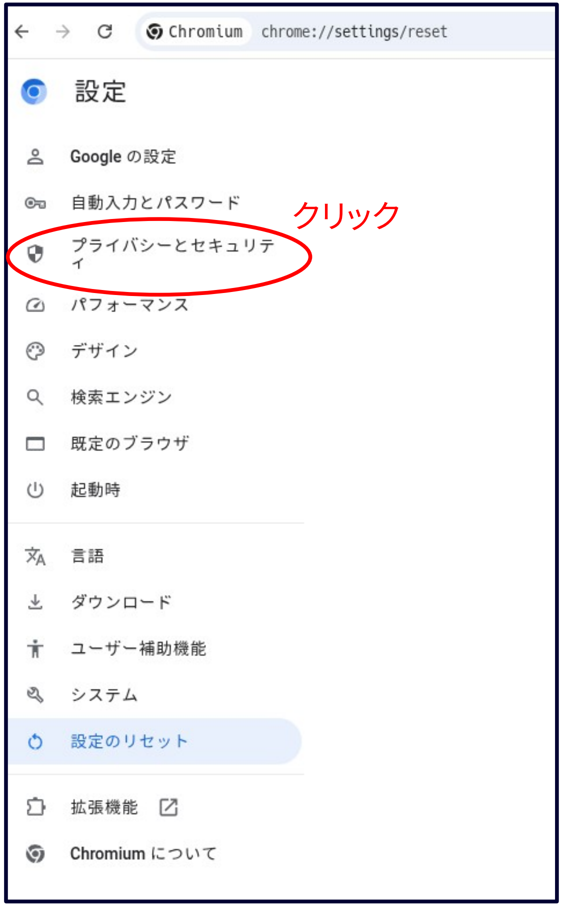
左図のメニューから「検索エンジン」を選択クリックすると下中図のような表示になります。ここで、「変更」ボタンをクリックすると下右図になります。Google検索からDuckDuckGoに切り替えます。





DuckDuckGoを選択し、「デフォルトに設定」ボタンをクリックするだけです。
※実際に検索エンジンが切り替わったかどうか、タブの「+」でタブを追加して確認してみましょう。

「プライバシーとセキュリティ」の確認と変更



非常に多くの設定項目があり、かなり理解しづらいですが…
まず、「安全チェック」をクリックしてみると…



「プライバシーとセキュリティ」の確認と変更



左赤枠のなかの三つの項目を確認します。

- ブラウザを使っているときに「パスワードを保存しますか」と質問されて「はい」と答えた場合(次回から面倒なパスワード入力が必要なくなる)保存されているパスワードの管理の確認ができます。(ブラウザにパスワードを保存することは推奨しません※)
- 最新版ではないものを使っているとブラウザの更新を求められます。
- セーフブラウジング保護強化機能が「オフ」の場合は、「オン」にしてください。

確認が終ったら左上端の「安全チェック」のボタンをクリックして前に戻ります。

※パスワードを使い回したり、推測可能な短いパスワードを使うことに比べれば、ブラウザのパスワード管理を利用する方が好ましいですが、もっとよいのは、パウワードマネージャーという専用のソフトウェアでの管理になります。(いずれまたセミナーでも取り上げます)

プライバシーとセキュリティの確認



左の赤枠のなかの各項目をクリックすると更に詳細な設定メニューが表示されます。いくつか要点のみ説明します。

- 「閲覧履歴データ」を削除 不要な履歴は削除しましょう。
- 「プライバシーガイド」をクリックすると「プライバシー設定のガイド」というそっけないページに移ります。そこから更に「次へ」をクリックし、「検索とブラウジングを改善する」が「オン」になっていたら「オフ」にします。このページに掲載されている「留意事項」の説明を読んでみてください。「オン」のままだと、Googleはあなたのブラウザ利用を追跡できる可能性が高くなります。
- サードパーティ Cookiesは「ブロック」を選択してください。
- 広告プライバシー (後述)
- セキュリティ 保護強化機能を「オン」にします
- サイトの設定 位置情報、カメラ、マイクの設定について解説を読んで自分にあった設定にしてください。ここでカメラ、マイクをオフにするとオンライン会議でカメラ、マイクが使えなくなるので注意が必要です。特定の場合だけカメラとマイクを許可する設定も可能です。

Google Chromeでの広告関連の設定

「広告プライバシー」の設定はかなりややこしいと感じます。すべての項目にきちんと目を通して理解し、適切な設定をするためには、かなりの時間がかかり、負担があると思います。

Google Chrome(Chromium)以外のブラウザで広告の設定がこれほどややこしいものはあまりないのでは、と思います。(※) 広告の設定が自分にとってはややこしいと感じるのであれば、広告を最初から遮断するような別のブラウザを選択するのがよいかと思います。

(※)Googleは広告会社です。広告収入を上げるためには、利用者の動向を可能なかぎり詳細に収集して、ニーズを把握し、これをスポンサーに提供することで、標的を絞った広告が可能になります。しかし、詳細なユーザーデータの利用は、ユーザーのプライバシーを侵害しかねない行為になります。Googleの仕組みはもともとプライバシーの権利を重視することとは矛盾するビジネスなのです。このユーザーの動静把握の手法は営利目的だけではなく、政治的あるいは軍事的な目的にも転用可能といえます。プライバシーや人権を重視するならGoogleのサービスは使うべきではないと思います。

おわりに

今日はあえてGoogleが開発したChromiumというブラウザを例にして説明しました。これはGoogle Chromeが最もよく使われていることから、この選択をしました。しかし、以下の理由で、ぜひGoogle Chromeから別のブラウザへの切り替えを検討してみてください。

- 他のブラウザに比べてユーザーの動静把握や広告との連携が強くプライバシー上の対処が難しい
- GoogleやMicrosoftは戦争犯罪に加担している企業でもあります。こうした戦争犯罪企業のサービスをボイコットすることは一人でもできることです。
- 他のブラウザへの引越しは難しくはありません。複数のブラウザをパソコンにインストールしても問題はありません。インストール方法は各ブラウザのウエッブページに記載があるはずです。わからなれば、メーリングリストで相談してください。
- としまるの個人的な推奨としては、Chrome系ではBrave、Chromeとは別の仕組みで長い実績があるのがFirefoxです。最近登場したMullvadやLibrevolfも評価が高いです。高度なプライバシーやセキュリティに配慮する必要がある場合は、Torがおすすめです。

おわりに

Firefox https://www.firefox.com/ja/

Brave https://brave.com/ja/

Vivaldi https://vivaldi.com/ja/

Tor https://www.torproject.org/ja/

Mullvad https://mullvad.net/ja

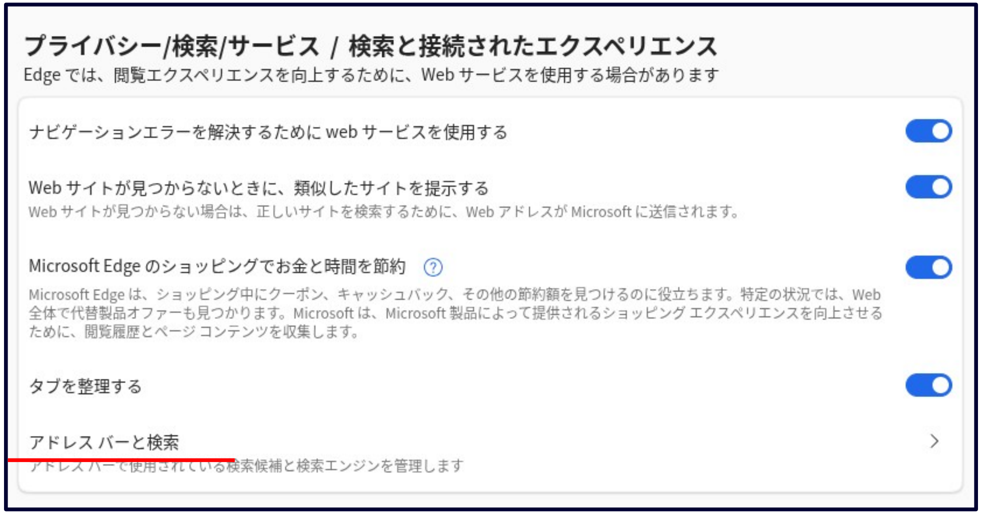
Librevolf https://librewolf.net/

(補足)Microsoft Edgeについて

URLやタブ、ブックマークは上記のChromeでの説明で推測できると思います。右上端の点3つをクリックして設定画面を開くところも同じですが、設定メニューがちょっと異なります。「設定」⇒「プライバシー/検索/サービス」ここでプライバシーやセキュリティの設定を変更します。

更に「検索と接続されたエクスペリエンス」をクリックし、「アドレスバート検索」をクリックして検索エンジンをBeingからDuckDuckGoに変更します。





(補足)Microsoft Edgeについて



ここクリックしてDuckDuckGoに変更します